

誠に申し訳ございませんが、以下の箇所の訂正をお願い申し上げます。

ページ	箇所	訂正前	訂正後
96	問 6 問題 選択肢 1 ※	薬物の血漿中濃度に対する組織中濃度の比は、組織中非結合形分率に対する血漿中非結合形分率の比に等しい。	血漿タンパク結合の変動が分布容積に及ぼす影響は、組織結合性が大きい薬物ほど顕著である。
207	問 1-1 解答番号	2	4
215	問 8-1 解答番号	2	1
357	問 13-1 選択肢 5	この患者では、アルブミンが大量に尿中へ漏出しているため、タンパク結合率が低下	この患者では、アルブミンが大量に尿中へ漏出しているため、タンパク結合率が低下している。
358	問 13-2 解説	解説文追記。	<p>・維持投与量 D</p> <p>今回、薬物の「半減期が 24 時間」であること及び「1 日 1 回間欠点滴静注」することから、「消失半減期ごとの繰り返し投与」である。薬物を消失半減期 $t_{1/2}$ ごとに連続投与したとき、$C_{ss,min} \div C_0$ となる。したがって、$C_{ss,min} = 15 \mu\text{g/mL}$ となるようにするには、$C_0 = 15 \mu\text{g/mL}$ になるように投与量を設定すればよい。</p> <p>よって $C_0 = \frac{D}{Vd}$ より</p> $D = C_0 \times Vd$ $= 15 \mu\text{g/mL} \times 0.7\text{L/kg} \times 70\text{kg}$ $= 735\text{mg} = 0.735\text{g}$
475	問 2-1 解答番号	1、4 選択肢 3 : × 4 : ○ 5 : ×	2、4 選択肢 3 : ○ 4 : × 5 : ○
477	問 3-1 問題文	冒頭文抜け。	<p>冒頭文追記。※(薬劑)問題文の上。</p> <p>「52 歳男性。食道がんの手術後に完全静脈栄養による治療を受けていた。ビタミン B_{12} 不足による乳酸アシドーシスの疑いでチアミン塩化物塩酸塩を急速静注したが、効果が不十分であったため 7%炭酸水素ナトリウム注射液 40mL を輸液 500mL に混合して点滴投与する予定である。」</p>

※解答・解説は、訂正後の問題に対応しております。